

定例記者発表次第

日時／令和5年1月20日（金）
10時40分～
会場／矢板市役所 第一委員会室

1 開会

2 記者発表案件

- (1) 令和5年度矢板市当初予算 主な新規事業について（総務課）
- (2) 矢板市テレワーク人材育成支援事業の実施について（総合政策課）
- (3) 「矢板市デジタルバリアフリー宣言」について（デジタル戦略課）
- (4) 泉保育所の在り方について（公私連携保育法人による保育所運営）（子ども課）

3 質疑応答

4 その他

5 閉会



予算会見予定 令和5年2月10日（金）10時00分～ 第一委員会室
記者発表予定 令和5年2月10日（金）11時00分～ 第一委員会室

記者発表資料

令和5年 1月 20日（金）発表・提供

件名	令和5年度矢板市当初予算 主な新規事業について		
(説明文)	令和5年度当初予算における、主な新規事業について速報します。		
1 目的（趣旨）	令和5年度当初予算の主な新規事業について速報する。		
2 内容	別紙のとおり		
※提供資料の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有（別添のとおり）・無			
担当課・グループ	総務課財政担当		
担当者名	矢板 洋		
電話番号	0287-43-1113	内線電話番号	1530

令和5年度 矢板市当初予算 主な新規事業

概算事業費(千円)

1	移住支援事業（総合政策課）	700
<p>【目的】 親元を離れて矢板市に在住する学生寮等に入寮する学生に対しての新学期準備の支援を図る。 また、本市への移住検討の契機となる移住体験事業の実施により移住促進を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学生寮等矢板市在住学生支援事業（400千円）・ お試し移住体験事業（300千円）		
2	デジタルバリアフリー推進事業（デジタル戦略課）	2,200
<p>【目的】 市民の誰もがデジタルの恩恵を享受できるよう、全世代の市民向けにデジタルに関する知識や技能の向上やデジタル技術による利便性の向上を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・ デジタル市民講座の開催（1,500千円）・ 市民向けお悩み相談室の開設（100千円）・ 地域デジタルリーダーの任命、各種取組の実施（100千円）・ 新技術を用いた実証実験の実施（500千円）		

令和5年度 矢板市当初予算 主な新規事業

概算事業費(千円)

3	泉中学校施設転用・複合化事業（総務課）	386,000
<p>【目的】 閉校となる泉中学校施設を転用し、公共施設の複合化を行う。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備工事（建物）（314,000千円） ・外構工事等（60,000千円） ・工事監理業務等（12,000千円） 		
4	こども医療費助成の現物給付拡大（子ども課）	128,100
<p>【目的】 これまで未就学児を対象に行ってきたこども医療費の現物給付を18歳到達後の最初の3月31日までの間にあるこどもに拡大し、こどもの保健の向上と福祉の増進を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども医療費助成の現物給付対象年齢の拡大 <ul style="list-style-type: none"> 〈現行〉現物給付：未就学児 償還払い：小学生～高校3年生 〈新規〉現物給付：未就学児～高校3年生 		

令和5年度 矢板市当初予算 主な新規事業

概算事業費(千円)

5	新エネルギー利用促進事業（生活環境課）	14,600
<p>【目的】 地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設及び家庭における再生可能エネルギー導入と防災力強化を実現する。</p> <p>【事業内容】 ・災害時の代替庁舎や避難所に指定されている公共施設に再生可能エネルギーや蓄電池、省エネ設備を導入するための基本設計（8,600千円） ・家庭のゼロカーボン推進補助金の交付（6,000千円） ※ 補助金交付対象機器 太陽光発電設備、定置型蓄電池、木質バイオマス熱利用設備（森林環境譲与税を活用）、電気自動車</p>		
6	林業成長産業化事業（農林課）	1,000
<p>【目的】 地域課題に対応した林業及び木材産業の成長産業化を目指す事業を実施し、地域活性化を図る。</p> <p>【主な事業内容】 ・矢板市林業・木材産業成長化推進協議会が取り組む下記の事業に対する補助金の交付（1,000千円） ① 林業現場における担い手のスキルアップを目的とした勉強会の開催 ② 森林の若返りを図る皆伐再生林を加速化させるための事業の実施 （植林の担い手を確保するシステムの構築、下刈作業の効率化や省力化の実証検証など）</p>		

令和5年度 矢板市当初予算 主な新規事業

概算事業費(千円)

7	中小企業振興資金貸付金（短期資金）（商工観光課）	38,000
<p>【目的】 市内事業者の運転資金及び設備資金について、低金利の融資（1年以内の貸付）を行い、事業者の育成・振興を図るとともに、原油価格・物価高騰の影響を受けた事業者への支援を行う。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付金の原資を栃木県信用保証協会を通じた市内金融機関への預託（36,000千円） ・融資実行時の保証料の全額補助（2,000千円） 		
8	城の湯温泉センター改修事業（商工観光課）	218,800
<p>【目的】 既存の温泉施設に新たに宿泊機能を加え、スポーツ合宿を軸とした宿泊需要を取り込み、滞在型スポーツツーリズムの推進を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城の湯温泉センター改修工事（2号館浴室を宿泊施設へ改修）（215,300千円） ・城の湯温泉センター改修工事監理業務委託（3,500千円） 		

令和5年度 矢板市当初予算 主な新規事業

概算事業費(千円)

9	東小学校大規模改修工事基本・実施設計業務委託 (教育総務課)	33,000
<p>【目的】 適正規模・適正配置計画に基づき、基幹校である矢板市立東小学校の大規模改修を行う。</p> <p>【事業内容】 ・大規模改修工事基本・実施設計業務委託 ※ 令和5年度は基本設計業務 (33,000千円)</p> <p>(今後の予定) ・R5～R6 改修工事基本・実施設計 ・R7～R9 校舎、体育館及び外構改修工事</p>		
10	中学生放課後学習塾事業 (教育総務課)	4,800
<p>【目的】 中学生の学力向上及び進路実現の支援を目的として、公営放課後学習塾を開設し、学習環境の提供と習熟度別指導を行う。</p> <p>【事業内容】 ・公営学習塾の開設 (4,800千円) 対象学年：中学3年生 学習教科：英語、数学 開設日：水曜日 (10月からは、水・金曜日)</p>		

令和5年度 矢板市当初予算 主な新規事業

概算事業費(千円)

11	国体レガシー事業（国体・スポーツ局）	1,300
<p>【目的】 国体開催を契機として、女性のスポーツ参画をテーマとしたレガシー大会を開催し、スポーツを「する」・「見る」裾野を広げるとともに、各競技団体の指導者育成を支援しスポーツを「支える」人材を確保することにより、次世代につながる生涯スポーツの推進を図る。</p> <p>【主な事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・国体レガシー大会（少年女子サッカー）の開催（300千円）・市スポーツ協会加盟団体を通じた指導者人材の育成（1,000千円）		

記者発表資料

令和5年1月20日（金）発表・提供

件名	矢板市テレワーク人材育成支援事業の実施について		
(説明文)	<p>コロナ禍を契機とした企業の地方移転の促進や、テレワーク等による新たな働き方を通じた人や仕事の地方への流れを創出する「地方創生テレワーク」の推進を図るため、本市独自の事業として地方に在住しながら地域外の仕事テレワークにて就業するための人材育成および就業サポート事業を実施します。</p>		
(内容)	<p>(1) 事業名：矢板市テレワーク人材育成事業 (2) 対象および募集人数：本市在住・在勤の方で就業意欲を有する方 (3) 募集人数：13名 ※応募が多数の場合は面談の上、選考を行う場合があります。 (4) 参加費：無料 (5) 内容 全国的に不足しているデジタル人材として活躍するための、基礎的スキルや認定資格取得を目指す研修事業となります。経験の有無を問わず、参加者に合わせたカリキュラムで学べる内容としています。 (6) 申し込み方法 市HPのほか、案内チラシ掲載のQRコードより事前説明会に参加したうえで申し込みとなります。</p>		
※添付資料	<input checked="" type="checkbox"/>	(別紙のとおり)	
担当課・グループ	総合政策課 政策企画担当		
担当者名	主査 弦巻 賢介		
電話番号	0287-43-1112	内線電話番号	1110

参加無料のデジタル研修に参加して、 地域に居住しながらテレワークで働きませんか？

矢板市テレワーク人材育成支援事業

参加無料！

矢板市テレワーク人材育成支援事業とは？

e-learning と講師の講義による研修を組み合わせた、スキル習得のための研修（約1か月間）と就業支援で、県内外の IT 関連企業や PC を用いた事務職等、テレワークが可能な職種等に就業・応募するための事業です。

テレワークで
就業したい

こんな方におすすめ！

隙間時間に
働きたい

スキルを身に
つけて長く活
躍したい



スキルを身につけ、時給単価アップも可能！

対象者

矢板市内に在勤・在住の、テレワーク就業に意欲のある方

- ・子育て、介護等フルタイム就業に制約がある方で自宅でのテレワーク就業を希望する方
- ・ブランクがあるものの、デジタルスキル習得にチャレンジ意欲がある方

※約1か月間の研修：e-learning での学習+7回のオンライン研修（講義）+3回の対面集合研修

うち対面研修は下記会場にお越しいただきご参加ください。e-learning はご自身のペースで学習が可能です。

※企業にお勤めの方で、リスキル・アップスキルに活用されたい方も一部対象となります

（参加希望者が多い場合は選考いたします。優先度が低くなりますので、あらかじめご了承ください）

研修期間

2023年 2/13（月）～3/13（月）

※e-learning+講師による講義（オンライン研修7回+対面集合研修3回）
※対面集合研修日程：2/20(月), 3/8(水), 3/10(金)

研修場所

スローワーク矢板

（〒329-2162 栃木県矢板市末広町 19-4 ココマチ 2階）

※e-learning・オンライン研修はご自宅で受講、3回の集合研修は本会場で実施

研修内容詳細

社会のデジタル化が加速するなか、多くの企業でデジタル人材への需要が高まっております。

「家にいながら仕事がしたいけれど、スキルがない・・・」「基礎から学んでデジタルスキルを身につけ、仕事に活かしたい・・・」といった方々を対象に、これからはあらゆる企業・職種でも求められる「クラウド型のプラットフォーム」の活用について基礎から学び、主に事務系職種など、テレワークによる就業を目指す研修です。

〈研修内容〉

Microsoft Office Word/Excel/PowerPoint といった基礎的な事務ツールのほか、データ分析ツール（BI ツール）や、自動化ツール（RPA ツール）の活用方法について、e-learning と講義を組み合わせた約 1 か月間の研修受講で、業務に活用できる実践的なスキルを学ぶことができます。自らが担当する業務の改善や効率化を自発的に進めることができ、「企業が求める人材」に成長することが可能です。

※研修受講後、認定資格「PL-900」の取得を目指せます！

※原則、研修で使用する PC はご用意いただき、対面集合研修の際はご持参いただきます。

（研修会場は Wi-Fi 完備。尚、PC は別途貸与検討いたします。詳細はお問い合わせください）

申し込み・受講の流れ

説明会・申し込み

- ① 事前説明会への参加
（個別実施可能）
- ② 申し込み & 選考

研修受講

- ① 1 か月間のオンライン研修
（自宅 & 集合研修）
- ② PL-900 の受験

就業

- ① 研修中にキャリア面談
- ② テレワーク求人へ
応募・面接

申し込み方法

参加を希望される方、詳細をご希望の方は

◀こちらのフォームより説明会にお申し込み下さい。

説明会日程

1月 25(水), 26(木), 27(金), 30(月), 2月 2(火)

13時～

※上記日程での参加が難しい場合は、個別対応も可能です。

※説明会はオンラインにて実施いたします。



主催

栃木県矢板市 総合政策課 担当：弦巻

Mail : seisaku@city.yaita.tochigi.jp Tel : 0287-43-1112

問い合わせ先


Modis 株式会社 地方創生部 運営事務局 担当：吉澤、緒方

Mail : mirai@modis-vsn.jp HP : <https://www.modis.co.jp/>

矢板市テレワーク人材育成支援事業 募集要項

事業名称	矢板市テレワーク人材育成支援事業
事業内容	e-learning と講師の講義による研修を組み合わせた、スキル習得のための研修（約1か月間）と就業支援で、県内外の IT 関連企業や PC を用いた事務職等、テレワークが可能な職種等に就業・応募するための事業です。
募集対象	<p>●矢板市内に在勤・在住の、テレワーク就業に意欲のある方</p> <p>→子育て、介護等フルタイム就業に制約がある方で自宅でのテレワーク就業を希望する方</p> <p>→ブランクがあるものの、デジタルスキル習得にチャレンジ意欲がある方</p> <p>※約1か月間の研修：e-learning での学習+7回のオンライン研修（講義）+3回の対面集合研修を実施いたします。うち対面研修は研修会場にお越しのうえご参加いただける方が対象となります。</p> <p>尚、e-learning・オンライン研修はご自宅での受講が可能です。（e-learning はご自身のペースで学習）</p> <p>※企業にお勤めの方で、リスキル・アップスキルに活用されたい方も一部対象となります。（参加希望者が多い場合は選考いたします。優先順位が低くなりますので、あらかじめご了承ください）</p>
募集人数	<p>13名</p> <p>※申込者が13名を超過した場合、下記の条件にて選考を行います</p> <p>【優先条件】</p> <p>①矢板市内在住・在勤の方</p> <p>②研修受講を経てテレワーク型求人に応募し、就職（転職）の意思がある方（在勤の方で、転職の意思がない場合は優先順位が低くなります。あらかじめご了承ください）</p> <p>③現在、就業していない方</p> <p>④就業していない方のうち、直近の就業先を離職されてからの期間が長い方（ブランク期間の長い方を優先いたします）</p>
参加費用	<p>無料</p> <p>※対面集合研修の際の研修会場までの交通費は自己負担となります</p>
研修場所	<p>スローワーク矢板 （〒329-2162 栃木県矢板市末広町 19-4 ココマチ 2 階）</p> <p>※e-learning・オンライン研修はご自宅で受講が可能です。</p> <p>3回の対面集合研修は本会場で実施いたします。（Wi-fi 完備）</p> <p>※オンライン研修についても、ご希望の場合は、本会場にて受講が可能です。</p>
研修日程	2023/2/13(月)～2023/3/13(月)

矢板市テレワーク人材育成支援事業 募集要項

申し込み締め切り日	2023/2/3 (金) ※予定
申し込み方法	<p>下記の QR コードに接続し、「説明会申込フォーム」にて申し込みください。</p>  <p>説明会申込フォーム ※説明会に参加していただいたうえで、本申込していただく流れとなります。</p>

講師による講義日程 (オンライン・対面集合研修)

研修名	詳細	実施日時	形式
オリエンテーション		2/13(月)	オンライン
PL-900:Microsoft Power Platform 基礎	PL-900 Microsoft 公式研修	2/20(月) 10:00-15:00	対面
PL-900:Microsoft Power Platform 基礎	PL-900 Microsoft 公式研修	2/22(水) 10:00-15:00	オンライン
PL-900:Microsoft Power Platform 基礎	PL-900 Microsoft 公式研修	2/24(金) 10:00-15:00	オンライン
PL-900:Microsoft Power Platform 基礎	PL-900 Microsoft 公式研修	2/27(月) 10:00-15:00	オンライン
ハンズオン	Power BI Service Report ブラウザ版 PowerBI を利用してデータの可視化を体験	3/01(水) 10:00-15:00	オンライン
ハンズオン	Power Apps in an Hour	3/03(金) 10:00-15:00	オンライン
ハンズオン	Power Automate Cloud Flow 半完成品のアプリケーション操作を実施、構築概要理解	3/06(月) 10:00-15:00	オンライン
Hackathon Training	Power Platform hackathon	3/08(水) 10:00-15:00	対面
Hackathon Training	Power Platform hackathon	3/10(金) 10:00-15:00	対面
Hackathon Training	個人でアプリケーション企画～開発、発表デモを実施する	3/13(月) 10:00-15:00	オンライン

※上記以外の日には e-learning を用いた自学自習 (Office Word/Excel/PowerPoint 等 e-learning 学習)

※使用する PC は原則としてご自身のものをお使い下さい。貸与をご希望の方は別途ご相談ください。

主催

矢板市 総合政策課

担当 : 弦巻

Tel : 0287-43-1112

Mail : seisaku@city.yaita.tochigi.jp

問い合わせ先

Modis 株式会社 <https://www.modis.co.jp/>

担当 : 地方創生部 運営事務局 吉澤、緒方

Tel : 080-4416-2836

Mail : mirai@modis-vsn.jp

記者発表資料

令和 5 年 1 月 2 0 日 (金) 発表・提供

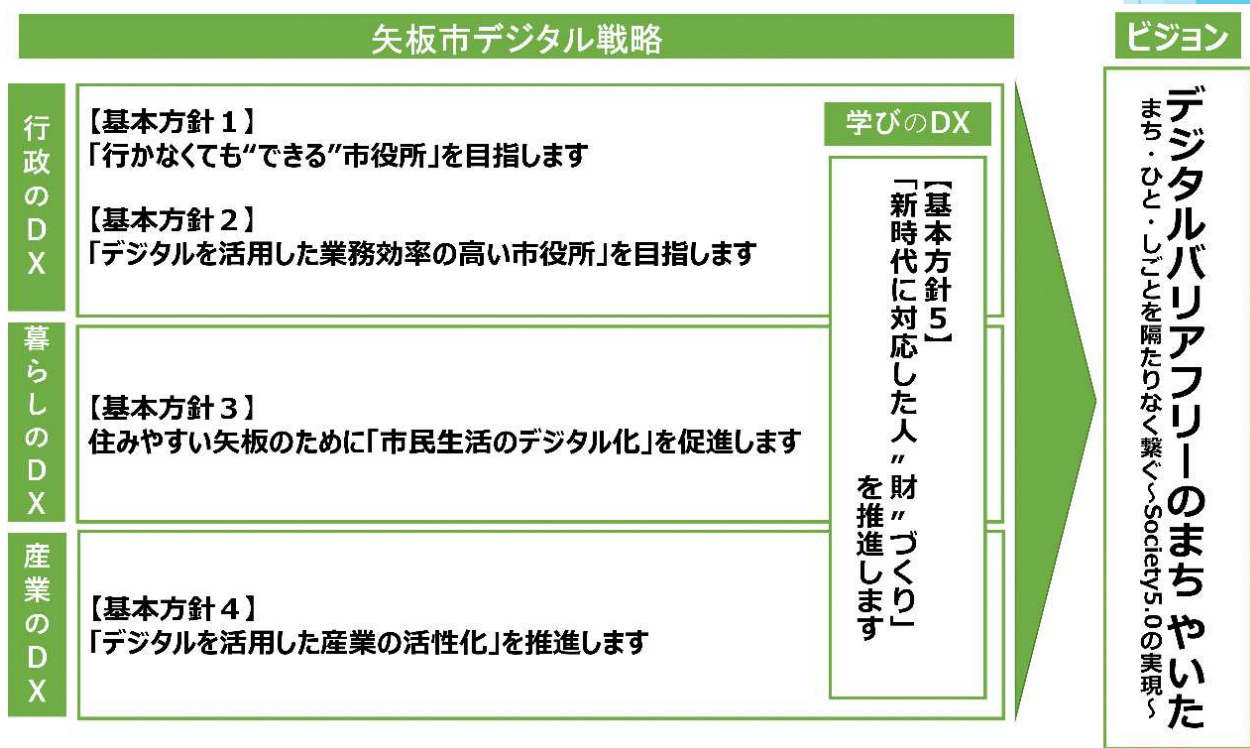
件 名	「矢板市デジタルバリアフリー宣言」について		
<p>1 目的（趣旨）</p> <p>「矢板市デジタル戦略」（令和 4 年 11 月施行）を着実に推進するに当たり、基本理念を市内外に周知する必要があることから、同戦略に基づいた「デジタルバリアフリー宣言」を実施するもの。</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 「矢板市デジタルバリアフリー宣言」の実施</p> <p>「矢板市デジタル戦略」の着実な推進により、「行政」「暮らし」「産業」「学び」の分野において、市民の誰もがデジタル化の恩恵を享受できるよう、矢板市 DX 推進本部による「矢板市デジタルバリアフリー宣言」を行う。</p> <p>(2) 令和 4 年度の主な取組の紹介</p> <p>「矢板市デジタル戦略」に基づく個別戦略について、令和 4 年度の主な取組について紹介する。</p> <p>3 参加者</p> <p>市長（矢板市 DX 推進本部本部長）、副市長（同副本部長、CIO）、教育長（同副本部長）、秋本 CIO 補佐官、総合政策部長、デジタル戦略課長</p> <p>※提供資料の有無：有（別添のとおり）</p>			
担当課・担当名	デジタル戦略課デジタル戦略担当		
担当者名	松本 一裕		
電話番号	0287-43-1170	内線電話番号	1212

矢板市デジタルバリアフリー宣言

矢板市は、人口減少、少子高齢化などの社会課題の解決や、社会のデジタル変革に対応するため、「行政」「暮らし」「産業」「学び」の分野において、市民の誰もがデジタル化の恩恵を享受できるよう、「矢板市デジタル戦略」に基づき、ここに「矢板市デジタルバリアフリー」を宣言します。

2023年1月20日
矢板市長 齋藤 淳一郎

矢板市デジタル戦略が目指す姿



これまでの主な取組

行政のDX

- ・デジタルに係る民間の知見を取り入れるため、地域活性化起業人を登用しました。
- ・市のDX推進計画である「矢板市デジタル戦略」を施行しました。
- ・マイナンバーカードの交付率について、県内一位（R4.12末時点）を達成しました。

暮らしのDX

- ・団体向けに、デジタルに関する出前講座を実施しました。
- ・住民アンケートなどにオンライン化を取り入れました。

産業のDX

- ・県デジタルハブと連携し、林業プロジェクトによる実証実験を始めました。
- ・建設中の未来体育館に、未来技術を実装する検討を行いました。

学びのDX

- ・校舎内のどこでも作業できる校務システムを県内で最初に構築しました。
- ・GIGAスクールタブレットを県内で最初に配備を行いました。
- ・学校電子図書館「ともなりライブラリー」を全国で初めて開設しました。

これからの主な取組

行政のDX

- ・令和4年度内に行政手続のオンライン化を実施します。
- ・マイナンバーカードのより一層の普及促進に努めます。
- ・情報セキュリティポリシーを全面改定します。

暮らしのDX

- ・令和5年度に向け、広報やいたに「デジタル保健室」の設置を検討します。
- ・デジタルを使ったきめ細やかな情報発信について、調査検討を行います。

産業のDX

- ・林業プロジェクトの成果達成に向けて、一層推進します。
- ・建設中の未来体育館に、最先端のデジタル技術を導入します。

学びのDX

- ・デジタル機器に不慣れな方々向けに、デジタル市民講座を開設します。
- ・地域において気軽に相談できる「地域デジタルリーダー」の育成支援を行います。
- ・GIGAスクールの内容を引き続き充実します。

記者発表資料

令和 5 年 1 月 20 日（金）発表

件 名	泉保育所の在り方について（公私連携保育法人による保育所運営）		
（説明文）			
公立保育所として運営しております「泉保育所」について、令和 7 年度から児童福祉法第 56 条の 8 に規定する公私連携型保育所として、公私連携保育法人の制度を導入し、公立から民間へと運営を移行させます。			
1 目的（趣旨）			
多様化する保育ニーズへの的確に対応していくため、少子化及び厳しい財政状況下において、安定的、継続的に質の高い保育を提供していくことを目指します。			
2 移行時期			
令和 7 年度			
3 対象施設			
泉保育所			
4 内容			
泉保育所の運営について、公私連携保育法人の制度を導入し、公立の運営から民間法人の運営へ移行させ、国・県の補助事業を活用することで、保育環境の更なる充実を図るものです。			
5 その他			
・制度導入自治体としては、県内 2 番目（高根沢町に次ぐ）			
・自治体自ら運営する公立保育所から民間保育所への移行に伴う公私連携保育法人の導入は県内初			
・制度の特徴として、運営主体となる民間事業者と市が協定を締結し、協定内容の範囲において、市が保育内容等について関与することができます。			
※提供資料の有無：無			
担当課・担当名	子ども課 保育担当		
担当者名	松岡 雄一		
電話番号	0287-44-3600	内線電話番号	3331